

弓道ながの

第43号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広部
印刷：(株)成進社

巻頭言

夢舞台を終えて

長野県弓道連盟副会長 高橋 康人



平成二十四年度全国高等学校総合体育大会弓道競技会・第五十七回全国高等学校弓道大会が

八月一日から四日にかけて松本市総合体育館内特設射場において開催され、無事終了することができました。土川会長を中心とする県連役員の皆様方や、地元松本弓道会の皆様方を始めとする多くの方々のご支援を頂き、成功裡に大会運営ができましたことを、この紙面をお借りして心より感謝申し上げます。私自身も長年にわたり高校

弓道に携わらせて頂く中で今回の大会は、高体連弓道専門部長として運営に関わり、多くの方々との絆の大切さや難さを感じ無量の思いで噛み締めさせて頂いた大会でした。

全国津々浦々から約八百名に及ぶ高校弓士たちが集い、競い合った四日間。若者達にとってまさしく「夢舞台」でありました。栄冠を目指し、熱戦を繰り広げた若者達の姿は、これからの時代を担う逞しさや熱意に満ちた頼もしい姿でした。それぞれの学校ごとに長い歴史に裏付けされた弓道文化が存在し、その文化が互いにつかり合いながら切磋琢磨し、また新たな文化を創り上げていく、そんな熱気に包まれ

た大会であったと思います。

昭和五十一年に開催された護国神社弓道場での長野高校総体以来、実に三十六年振りの長野県における高校総体開催は、県下の高校弓士達にとっても、各校顧問にとっても多くのことを学び得た貴重な体験となりました。私自身にとりましても顧問として高校弓道に関わるようになって以来、弓道誌上だけでしか知りえなかった指導者の先生方と初めて直にお話を具体的に伺うことができる得がたい機会となりました。

大きな全国規模の競技会を経験したこと。これからのを担う県下の高校弓士たちは、踏み出すべき次の一歩が明確に認識できたことと思います。栄冠を手にした全国レベルの高校弓士たちの射は、「深い会」と「冴え渡る離れ」を基軸にしたまさに「正射」でありました。そのような本物を見つめることができた今回のような峻烈な実体験が、「青年期」という人生のまっただ中に身を置き、「子供」から「大人」へと脱皮していくまさに疾風怒濤の時代を生きる若者たちには、極めて大切な意味を持ったことと思います。高校時代は青年期本来の特質が最も鮮明にしかも強烈に現れる時期であり、自分を取り巻く様々な人々との触れ合いを

通じて、自我が成長・拡大・分化していく人生において最も深みや彩りが増す大切な時期です。その時期に弓道という奥行き深い媒体を通じて修練を積み上げることの妙味をこれからもしっかりと噛み締めて欲しいと願っています。

結びに今回の大会を支えてくださいました総ての方々に改めて感謝申し上げます。巻頭言とさせていただきます。



長野県弓道連盟名誉会長山川茂樹先生は昨年叙勲を受けられ、本年は全弓連の功労者表彰を受けられました。県弓連のため、長年ご尽力いただきました先生に原稿をお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただきましたので、二回に分けて掲載いたします。

私の弓道の原点を振り返って

長野県弓道連盟名誉会長 山川 茂樹



昨年春の叙勲受章について、県

弓連の役員をはじめ先輩諸先生方、ならびに会員皆様

の多大なご協力に厚くお礼申しあげます。

このたびの受章に際して原稿を依頼されましたが、私の弓道の原点について述べ、その責任を果たしたいと思えます。

私の弓道は、昭和二十九年四月弾塚先生に勧められて、伊那の弓道場で初めて弓を手にしてからで、このときから今日まで六十年の長い弓道の修練であった。まだ終わっていないこれから修練は続いていく。

弾塚先生は弓の大恩師であり、人生の師でもある。

この年に伊那町を中心に近隣の村々を併合して新伊那市が誕生した。これを機会に伊那市体育協会弓道部も、小川弥作先生が初代弓道部長となって発足した。そして市制を記念してこの年開催された市民体育祭は、回を重ねて今年で五十九回となって現在も続いている。この輝かしい歴史を残していた

だけたのも、先人の大きな努力と、支えがあったからこそと感謝するところです。

当時の弓道場は、常円寺境内の旧洗心閣の南側で、丁度洗心閣の庭先のような位置にあった。

この道場には古い歴史があり、三沢孔文先生の「弓と矢の話」の一節に「道場ができたのは寺の住職柴宮実道和尚の代で、和尚も道雪派の達人であつ

た。弓人の協力により射小屋を建てて塚を設けた。当時は三人立ちの道場で伊那地区および近隣の弓人の集まる道場となった」と載っていた。

その後洗心閣の改築により更に南に移転することになったが、矢道に当たるところに竹藪があり、竹の根を掘り起こして整地をしなければならなかった。部員の労力奉仕で整地を行ったので大変苦労した思い出がある。

これを機会に六人立ちの伊那市管弓道場が完成した。以来上伊那地方の中心的な弓道場として広く使用されてきた。杉の太木に囲まれ、夏は涼しく、冬は寒い道場であり、矢道の杉の葉の清掃などにも大変手間がかかった。また塚の屋根越しにお墓が見え、夜は大変寂しい道場であった。

当時は一日かけて例会を開いた。道場内には囲炉裏がありお湯を沸かしたり、冬は囲炉裏で炭をおこして大きな火鉢に炭火を移して暖房とした。これもみんな新人の私たちの仕事であった。

五十四年に現在の武道館弓道場が新築され、先輩弓人の歴史が一杯詰まった、常円寺境内の市管弓道場は閉じることとなった。その後洗心閣の再改築により、現地は跡形を見ることができないほど変化してしまった。

(以下次号に続く)



常円寺境内にあった旧伊那市管弓道場 (S54年4月 安土)



同道場の射場 (当時 教士七段 S54年元旦)



教士を拝受して

上小支部教士六段 滝沢 寿雄

此の度、平成二十四年六月に全日本弓道連盟の審議会におきまして、教士の称号を拝受する事が出来ました。身の締まる思いでいっぱいです。これも長年講習会等で御指導頂いた先生方、弓友の皆様により御礼申し上げます。

今後は教士を拝受した事を肝に銘じて日頃の修練に心掛け弓道の理念を目標に、日々取り組んで行きたいと思えます。又弓道連盟主催の講習会等には積極的に参加し見識を広め指導者としての勉強をして行きたいと思えます。人に教える事は大変に責任のある事と思えます。その人々の体型、感情も違います。それに見合った指導が必要と思えます。自分自身が実践して初めて相手が納得する事であり責任がある

ことと思えます。

最近低段者の実技審査に立ち合う機会があり、自分自身の射に置き変えて見る事が出来、良い勉強になりました。

私事になりますが、平成元年に錬士になり二十年余りとなり、平成五年に右手四指の曲折障害となり一時期は弓道を諦めましたが、多くの弓友の皆様のおかげで励ましに現在も続ける事が出来ました。本当に有難い事でありました。

最近では寄る年波と右手障害により以前の様な離れが出来なく審査は諦めなくてはと思う今頃でありました。その矢先に重田副会長より推薦の候補にとの知らせを受け、今回の拝受となりました。これには県弓連会長を始めとする推薦に関係された役員の方々に頭が下がる思いでいっぱいです。

一昨年左肩を、本年右肩の腱板断裂となり六月より入院中の所、今回の昇格の連絡を受け、その喜びはひとしおでありました。現在リハビリ中で治癒した後は、この御恩を返すべき気持ちで出来る限りのお手伝いをしたいと思えます。最後にこれまで御指導下さった先生方に厚く御礼申し上げます。



自覚すれば頑張れる

松本支部 教士六段 関澤 喜内

六月教士の称号を拝受致しました。

これも皆様方のご指導とお力添えのたまものと心より感謝申し上げます。射品、射格、人格など多くの事を身につけ形として表現出来る事が称号者の責務だと思えます。弓道上達の極意は基本を身につけることと教わって来ました。今まで勉強した知識、教えて貰った知識を反芻し形で表現出来る様頑張りたいと思えます。射即人生、射即生活、日常生活総べてが(弓道に限らず)基本は挨拶から始まると思う。お早ようございます。今日は。今晚は。私はそう思って実行している。礼記射義に外体直くしてとある、姿勢を正して背筋を伸ばし、凜とした態度こそ自分を律する心構えだと思えます。私は比較的時間の余裕のある身となり毎日弓道場へ通っています。これからは初



心者育成のため気力、体力の続く限り微力ではありますが尽くしたいと思っています。最初に基本の大切さを分かかって貰うことから始める。弓道は角見の働き、なぜ必要か理論を会得すること自覚することが最も重要であることを覚えて貰う。多くの先輩方の著書に殆ど弓手の手の内から説明されています。左手(弓手)のY字にした虎口の部分に弓力を受け(握ってはいけません。左手(弓手)のY字にした虎口中心に虎口中心を右七、左三に決めて、大きく円を描く様に弓の中へ体を割り込ませる(手の内は変えない)。会になり拇指先は的の向かい離れでは自分的に向かい拇指根で弓右内竹角を押し開く。残身で拇指先は自分的に向かう。これが角見の働きであることを自覚させる。押すと同時に右手の拇指を弾き矢筋に抜く。最初は意識して稽古を重ねれば意識なしで離れる様になると説明している。教本四巻に村上先生の項で拇指の関節は絶対に折り曲げぬ様に、さもなければ角見は働かないとあります。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

平成二十四年度指導者育成講習会

(北信越地区)を受講して

飯山支部 錬士六段 清水 和代

この講習会は、今年度初めて開催された講習会になります。

主任講師がご挨拶された時にも、現在の全日本弓道連盟の喫緊の課題の一つが若手指導者の育成であるとお話

されていましたが、五十歳未満という年齢制限を設けた講習会で、北信越地区は七月十四日・十五日の両日、魚住一郎範士・小澤通春範士の両講師をお迎えして、石川県立武道館弓道場において、各県六名、総勢三十名が受講いたしました。

全弓連主催の講習会に参加することが初めての受講生が大半のこともあり緊張感の中、講習会はスタートしました。

一日目は、受講生の一手行射・講話・基本体・介添え実習でした。

一手行射の講習では、射の運行のリズムが射品射格に繋がっていることや日常の道具の確認、稽古の取り組み方についてお話がありました。特に稽古については、最近は先生に教わる事ができるため工夫稽古が足りなくなっ

てきていること、また、見取り稽古は正座で、自分がやっている人の身になって拝見するという気持ちでしているかどうかなどのお話があり、思わず自分を振り返りました。

講師講話では、まず指導者の役割と責務についてとして、指導者はどうあるべきなのか、どのような部分に心を配るのか。指導者は、その目的に達するために方向性を示し導く人であるが、ただ弓を教えるだけではない、知っておかなければならないこと、例えば、外国人との考え方の違いや体罰、ドーピングなど多岐にわたるお話の中、特に指導者の責務としては、年齢・技術・体力

にそった指導、やる気と自立心の養成、明確な目標設定、そして継続できるように導くことであると同い、改めて身の引き締まる思いでした。

次に、弓道教本第一巻の正しい理解としては、読んだだけ・知っているだけではダメ。事柄を知り、出来ることが大事。慣れで弓を引かないように、教本に照らし合わせて、そのようになっ

ていないかどうかを常に確認すること。そして、ただ引いて練習することが多いが、体配を重視して欲しいなどのお話でした。

二日目は、各県代表による原則の問合いによる持的射礼から始まりまし



前日の見取り稽古のお話があったからというわけではありませんが、道場内で見ている受講生全員が一緒に行射しているかのような一体感でした。

その後、射礼研修、射技研修を経て検定試験を行い、終了となりました。

酷暑そして猛烈な湿気と戦いながらの二日間でしたが、講師の先生方の熱のこもったご指導と各県から参加している受講者に負けないよう、長野県から参加した六名も真剣に受講させていただきました。

このような貴重な講習会へ参加させていただいたことに感謝申し上げます。





土川俊市長野県弓道連盟会長のあいさつ

今年、北信越かがやき総体の中で弓道は地元長野県の松本市総合体育館で行われた。そのため、私たち地元の高校の出場者以外の弓道部員は裏方としてその運営を手伝うこととなった。

高校生のうちに地元でインターハイが行われることなどほとんどない。私は全国レベルの射技を近くで見られるうれしさと全国に恥じない働きができるのかという不安との両方を感じていた。

実際に競技が行われたのは八月一日

『かがやき総体弓道競技観戦記』

—— 弓道競技に補助員として
参加して学んだこと ——

長野県松本県ヶ丘高等学校 弓道部 高橋 千晶

から四日までの四日間であったが、初めて補助員、役員とともに全員が集まったのは七月二十八日であった。集まった人々の数は想像していたよりも多く、これだけ多くの人が運営に関わっているのかと驚かされた。

私の担当は矢取りだった。選手や観客の前に出る仕事である。そのため、会場の設営の仕事が終わると各係ごとに集まり、それぞれの持ち場ごとに担当の役員の先生方から説明を受けた。また、細かい打ち合わせをし、多少の練習もした。

二日間の公開練習日を経て大会当日を迎えた。会場内はとても静かで緊張感に包まれていた。思いの外選手たちを見かける機会は少なかったが、どの学校も礼儀正しかった。またこれは別のお話だが、朝まだ会場が開く前に、どこかの学校の選手たちが会場に向かって大きな声であいさつしているのを見た。弓道をやる上でこのような態度が



山田雅亮競技委員長の矢渡

基本にあるのだと再認識させられ、自分も見習いたいと思った。このような姿を見て彼らが競技に集中しやすい雰囲気や環境をつくるためにできる限りの努力をしたいとも思った。

このような気持ちで補助員の仕事にのぞんだ。大きなミスはなかったが、交替前の集合時間についての係への伝達不足など細かい点において反省点は多かった。

本来一番見たかった射技はあまり見ることができなかったが、それでもわずかな空き時間には観客席へ行き観戦させてもらった。高校ごとに特徴はあったが、落ち着き安定した射をしているように見えた。斜面打起しや独特な応援などは新鮮であった。また、安

土裏の待機場所においても矢勢や確実に的中する音などだけでもレベルの高さを実感できた。

毎日朝早くから準備をするのは大変だったが、役員の方々は私たちよりも早く会場入りしていた。このような大会が開かれるには参加選手よりもずっと多くの人たちの働きが必要なんだと改めて実感した。これは大会だけではなく、他のあらゆる事にも共通するものだと思う。そして感謝の気持ちをいつも忘れずに持ちたい。

このインターハイでの補助員としての仕事を通して弓道についてだけでなく、多くのことを学ばせてもらった。この経験をこれからの人生に活かしていきたい。



揃って矢取り

弓仲間紹介

中野弓道会 中高支部 夏目 澄江

中野市営弓道場は昭和五十八年竣工と近隣の弓道場の中では早い時期に出来たという事で「巻藁室が無い」「控え場所の廊下が狭い」等の不便はありますが十人立ちの広い道場で

近くの一本木公園で開催される「バラ祭り」に合わせて行われる「無相大師奉賛弓道大会」や「冬期百射会」には県内外から、秋の高校生の「無相大師弓道大会」には四百五十名前後と多くの参加をいただいております。

現在の会員数は四十五名程で、最近は初心者教室終了後の入会者も増え活気があります。国体・全日本選手権大会出場者や各大会での入賞者も多く、月例会も中野の他に「山ノ内弓道場」「須坂市弓道場」でも行われ、弓道会の交流も図っています。



そんな中野弓道会に私がお世話になったのは十二年前の初心者教室からです。「週一回は道場に！」を目標に通い始め、現在は週三回の練習日にはできるだけ顔を出す様になっています。私だけでなく仕事を待つ会員の殆どがそうである様に練習時間が少ない事が悩みですが、和気藹々と良い雰囲気の中の練習です。私が射型の修正を始めて混乱しスランプに陥った時の数々の助言や心からの励ましは有難く、弓から離れる事なく今日まで続ける事ができました。お陰様でようやく目標とする射に近付けた様に思っています。

各地の大会や講習会・審査に出掛け老若男女多くの弓仲間が出来ました事も、私の大きな財産となりました。私に力を下さり導いていただきました先生方・先輩方をはじめ多くの弓仲間の皆様に心からの感謝を申し上げます。

私と弓道

諏訪支部 市川 隆光

高校より弓道を始め、益も正月も練習を休まず現在に至る。三日以上弓を握らなかつた記憶は無く、弓のことを考えなかつた日は？と考えれば一日も無い。十三年間休まず練習を続け、気がつけば青春と呼ばれる年代は全て弓道に捧げてきた。人生一度きりの青春を捧げるほど好きなのであるから楽しい文が書けるのではないかと思っていた。しかし、いざ筆をとり道程を振り返ってみると挑戦と挫折と苦悩に満ちており泥沼を覗き込むようである。

高校時代は早気を患いの中は無かつた。高校・大学に指導者はおらず、教本や書籍・見取り稽古・数稽古で善いも悪いも判断せず我武者羅に引き続けた。社会人になってからはある大会で日頃からの弓に対する姿勢がなつてないと長時間直立不動で怒られた。国体では二十五歳にして総監督に張り手を頂いた。これは口外できるほんの一部のことで、今までの挑戦と挫折と苦悩の詳細は筆舌に尽くし難い。

だが、見方を変えれば今までの道程は泥沼であることにも合点がいく。蓮も稲も泥から出でる。蓮は泥が無ければ育たず、泥が淀めば淀むほど大きく

美しい花を咲かせるという。これまでの挫折と苦勞の数々は私のこれからの弓道に必要なことであると思える。稲作に例えれば泥にまみれようやく代かきが終わるうかという頃だろうか。稲穂が金色に輝くまではまだまだ長い道程だ。

最後に本人が恥ずかしがるのであえて名前は伏せるが、私の弓道に影響を与えた人について述べたい。高校生の頃の下手で早気な私を褒めてくれた唯一の人だ。私を弓好きにさせるきっかけの一つを作った人であるが、言い換えれば私をこの苦悩の泥沼に突き落とした人でもある。最近「俺の目の黒いうちに錬士になれ」と言うようになった。これは私の弓道がその域まで到達したという意味ではないだろう。「また違う挑戦をして、挫折と苦勞を味わえ」という言葉に感じる。この艱難を凌いだとき、田植の時期は近い。



大会結果

第47回県下弓道榑川大会

○6月3日(日)

市営榑川弓道場

参加数…91名

▲一般個人の部

- 1位 小泉晃(善光寺)
- 2位 高際和美(松本SOMU)
- 3位 小池君男(善光寺)
- 4位 柴種徳(伊那C)
- 5位 中村永子(善我館)
- 6中
- 7中

▲一般団体の部

- 1位 善我館(折橋光江、十住晃子、中村永子)
- 2位 伊那C(柴種徳、中村美穂、久保田智恵)
- 3位 安曇(川上誠、猿田功一、松井幸彦)

第52回近県弓道大会兼西沢盃争奪弓道大会

○6月9日(土)

参加数…一般のみ24名

(4ツ矢2回8射)

▲一般の部

- 1位 宮島さおり(長野支部)
- 2位 島本昌晃(上伊那支部)
- 5中
- 6中

第59回全信州弓道大会

○6月10日(日)

参加数…高校の部男子24チーム、女子26チーム(14校)147名、一般の部18名

▲男子

- 1位 長野日大高校Cチーム(中村誠人、金子宝史、大宮樹)
- 2位 長野日大高校Aチーム(小野洗、佐藤悠成、狩野森)
- 3位 須坂高校Dチーム(湯本光、駒津裕亮、池田祥之)
- 9中

▲女子

- 1位 長野日大高校Cチーム(佐藤愛、青山華穂、福澤みあい)
- 2位 長野日大高校Aチーム(堀内克帆、永江有子、小池優佳)
- 3位 須坂高校Bチーム(武田千穂、千村瑠香、豊田友紀)
- 10中

■一般個人の部(8射4ツ矢2回)

- 1位 石田真(飯山市)
- 2位 増田亮(佐久市)
- 3位 中島勁(長野市)
- 4位 夏目澄江(中野市)
- 5位 河野利一(飯山市)
- 5中

長野県弓道近似的選手権大会

○6月17日(日)

上田城跡公園弓道場

参加数…男子有段者の部35名、女子有段者の部27名、男子称号の部29名、女子称号の部18名

(8射)

▲男子有段者の部

- 1位 松井幸彦(安曇支部)
- 2位 中村宏(諏訪支部)
- 3位 小山義弘(佐久支部)
- 4位 手塚信一郎(上伊那支部)
- 5位 手塚信幸(上小支部)
- 5中
- 6中
- 7中

▲女子有段者の部

- 1位 荻原千恵(上伊那支部)
- 2位 牧野ふみ江(佐久支部)
- 3位 浦野恵未香(松本支部)
- 4位 伊藤梓(長野支部)
- 5位 原深雪(諏訪支部)
- 5中
- 5中
- 6中
- 7中

▲男子称号の部

- 1位 亀岡英司(南佐久支部)
- 2位 松島一夫(飯伊支部)
- 3位 平澤敏弘(飯伊支部)
- 7中
- 7中
- 7中

▲女子称号の部

- 1位 春原由美子(上小支部)
- 2位 高地美佐子(上小支部)
- 3位 藤澤敏子(飯伊支部)
- 5中
- 5中
- 6中

▲技能優秀者

- 男子有段者の部 中村宏(諏訪支部)
- 女子有段者の部 荻原千恵(上伊那支部)

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロツヂ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP: <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

第9回全国中学生弓道大会 長野県予選会

○6月30日(土)
塩尻市弓道場
▲団体の部 男子(3人4射3回)
1位 長野日大A
2位 長野日大C
3位 長野日大B
▲団体の部 女子
1位 長野日大A
2位 長野日大B
3位 安曇野

▲個人の部 男子(4射×3回)

1位 千野翔(長野日大)
2位 金子宝史(長野日大)
3位 五嶋和希(常盤)

▲個人の部 女子

1位 五十嵐ももな(長野日大)
2位 中村聖奈(長野日大)
3位 村田光(下諏訪)

三体協統合記念大会 兼 第55回近県弓道上田大会(一般の部)

○7月15日(日)
上田城跡公園弓道場
参加人数…一般81名
▲一般個人の部(8射)
1位 関浩道(信大A)
2位 藤森千友貴(信大A)
3位 那須将樹(信大B)

4位 長岡昌(上田体協丸子)
5位 岩波哲也(信大B)

▲一般団体の部(40射)

1位 信大A(藤森千友貴、井澤美佳、島田有理子、安藤唯幸、関浩道)

2位 信大B(岩波哲也、加藤雅己、小原宙大、那須将樹、中島陽太郎)

3位 上田体協丸子(高木賢一、長岡昌、土屋満亀子、高木涼子、宮川登)

長野県弓道遠的選手権大会 兼 第63回全日本弓道選手権大会長野県予選会

○7月15日(日)
県営飯田弓道場
▲男子の部
1位 亀岡英司(南佐久支部)
2位 熊谷秀人(飯伊支部)
3位 平井真吾(飯伊支部)

▲女子の部

1位 井原寿恵(飯伊支部)
2位 中村薫(諏訪支部)
3位 原美雪(諏訪支部)

▲決定派遣選手 男子の部

亀岡英司(錬士五段 南佐久支部)
平岩真吾(五段 飯伊支部)

▲決定派遣選手 女子の部

中村薫(五段 諏訪支部)

第1回北信越弓道錬成大会

○7月29日(日)
福井県立武道館弓道場
参加数…男子、女子各25名
(各県各5名)

▲男子の部

1位 友安正人(石川県)
2位 中條大輔(石川県)
3位 平澤敏弘(長野県)

▲女子の部

1位 久保田智恵(長野県)
2位 高地美佐子(長野県)
3位 小西文子(石川県)

牧野ふみ江(五段 佐久支部)

第63回全日本男子弓道選手権大会 長野県代表選手

平澤敏弘(飯伊支部)
田中正彦(松本支部)

第45回全日本女子弓道選手権大会 長野県代表選手

久保田智恵(上伊那支部)
高地美佐子(上小支部)

平成24年度全国高等学校総合体育大会 弓道競技大会

○8月1日(水)～4日(土)
松本市総合体育館特設弓道場

▲男子個人

大宮樹(長野日大) 決勝射詰 ○×
原雅幸(伊那弥生ヶ丘) 準決勝敗退
久保亮太(須坂) 予選敗退

▲女子個人

新井美香(伊那弥生ヶ丘) 準決勝敗退
永江有子(長野日大) 6位

▲男子団体

堀内怜利(上田染谷丘) 予選敗退
松澤明日美(諏訪二葉) 予選敗退

▲女子団体

飯田 決勝トーナメント
飯田女子 1回戦敗退
2回戦敗退

第32回飯田市中心道沿線都市スポーツ大会弓道競技

○8月5日(日)
飯田運動公園県営飯田弓道場
参加人数…314名

▲個人の部
 ▲高校男子
 1位 小杉山剛貴(下農・飯田合同)
 2位 上山和也(伊那北B)
 3位 大澤雅(下農・飯田合同)
 4位 牧野登(飯田A)
 5位 下田耕嗣(中津川工B)
 ▲高校女子
 1位 松村茜(下農A)
 2位 古川礼菜(二葉A)
 3位 山本茉友(土岐商A)
 4位 加藤瑞穂(飯女A)
 5位 竹村希(飯田A)
 ▲一般
 1位 島本昌晃(上飯田B)
 2位 田中宏明(喬木A)
 3位 小栗一浩(瑞浪デスモス)
 4位 鈴木信子(可児)
 5位 若尾武宏(黒弦弓道部)
 ■団体の部
 1位 可児(鈴木孝明、鈴木信子、中島幸子)
 2位 下農・飯田合同(宮下尚弥、大澤雅、小杉山剛貴)
 3位 黒弦弓道部(若尾武宏、勝木謙太、藤田敦)

参加数：高校85名、一般28名、合計113名

参加数：高校84名、一般42名、合計126名

▲個人の部(8射)
 ▲高校
 1位 上澤いな(松商学園A)
 2位 山本直孝(穂商A)
 3位 川窪亮一(志学館A)
 4位 丸山貴大(大町男子A)
 5位 皆川裕作(豊科A)
 ▲一般
 1位 川上誠(波田っ子クラブ)
 2位 滝沢和枝(安曇C)
 3位 猿田功一(安曇D)
 4位 伊藤梓(HIM)
 5位 井川哲雄(安曇B)
 ■団体の部(12射)
 ▲高校
 1位 松商学園C(道善勝太、中島紫帆、勝家優太)
 2位 大町北男子A(高木淳、鷲澤和弥、川合達紀)
 3位 豊科B(谷岡駿、猿田青希、千國孝明)
 ▲一般
 1位 HIM(宮島さおり、伊藤梓、穂倉敏勝)
 2位 安曇C(山越孝子、丸山真弓、滝沢和枝)
 3位 安曇A(高木秀明、中村尚子、荒川保)

▲個人の部(8射)
 ▲近似的個人の部(8射)
 1位 平林陸
 2位 片瀬佳
 3位 田中公博
 4位 吉野恒夫
 5位 原雪彦
 ▲遠的個人の部(8射)
 1位 松井幸彦
 2位 守屋道則
 3位 松井智也
 4位 大沼暢
 5位 島本昌晃
 ▲高校団体の部(12射)
 1位 大町男子A(平林陸、井出遼太郎、田中公博)
 2位 豊科A(皆川裕作、西山瞭汰、片瀬佳)
 3位 大町女子B(藤山菜々、鶴飼円花、佐々木わかな)
 ▲一般団体の部(12射)
 1位 チーム勝気(岡本将浩、原雪彦、生田憲克)
 2位 大町44期OB(中山雅之、野村源太、松井智也)

○8月19日(日)
 大町市運動公園弓道場

○8月25日(土)・26日(日)
 全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武

▲男子団体
 5位 長野日大中学

▲奉射 高校生の部(遠的4射)
 1位 上山和也(スズキとゆかいな仲間達)
 2位 長澤英二(岡谷南E)
 3位 中山雅之(大町G)
 4位 中田茉莉奈(志学館A)
 5位 渋谷優我(イマジナリス) 2中

▲奉射 一般の部(遠的4射)
 1位 吉澤忠秀(下諏訪水無月)
 2位 亀岡英司(帝産ロッジ)
 3位 原深雪(帝産ロッジ)
 4位 小池正夫(梓)
 5位 足助敦(下諏訪水無月)

○8月26日(日)
 下諏訪町菅弓道場

参加数：高校148名、一般52名、合計200名

▲奉射 高校生の部(遠的4射)
 1位 上山和也(スズキとゆかいな仲間達)
 2位 長澤英二(岡谷南E)
 3位 中山雅之(大町G)
 4位 中田茉莉奈(志学館A)
 5位 渋谷優我(イマジナリス) 2中

▲奉射 一般の部(遠的4射)
 1位 吉澤忠秀(下諏訪水無月)
 2位 亀岡英司(帝産ロッジ)
 3位 原深雪(帝産ロッジ)
 4位 小池正夫(梓)
 5位 足助敦(下諏訪水無月)

第90回 諏訪大社御射山奉射会
 第62回 近県弓道下諏訪大会

安曇野大会

○8月12日(日)

豊科弓道場

3位 安曇A(高木秀明、中村尚子、荒川保)

2位 大町44期OB(中山雅之、野村源太、松井智也)

3位 足助敦(下諏訪水無月)

大町市制記念県下弓道大会

○8月19日(日)

大町市運動公園弓道場

参加数：高校84名、一般42名、合計126名

第9回 全国中学生弓道大会

○8月25日(土)・26日(日)

全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武

道場至誠館弓道場

▲男子団体

5位 長野日大中学

○8月26日(日)

下諏訪町菅弓道場

参加数：高校148名、一般52名、合計200名

合計200名

▲近県大会 個人の部

(遠的4射+近的4射 8射)

- 1位 吉澤忠秀(下諏訪水無月) 8中
- 2位 市川隆光(帝産ロッジ) 7中
- 3位 中山雅之(大町G) 6中
- 4位 森泉拓志(桜佐久) 6中
- 5位 中村宏(下諏訪如月) 6中

▲近県大会 団体の部(24射)

- 1位 帝産ロッジ(市川隆光、原深雪、亀岡英司) 17中
- 2位 伊那B(伊藤淳、矢島美穂、矢島正男) 15中
- 3位 下諏訪文月(長澤克彦、金子幸平、杉村吉章) 14中

第27回 北信地区高校弓道大会

○8月26日(日)

長野運動公園弓道場

参加数・男子203名、女子178名、合計381名

▲団体の部 男子(24射)

- 1位 長野日大F(中村誠人、小野洸、大宮樹) 17中
- 2位 長野吉田C(碓井慎太郎、永原龍馬、長田直也) 13中
- 3位 中野西C(涌井達哉、見波護、佐藤慧弥) 13中

▲団体の部 女子(24射)

- 1位 須坂B(藤井咲希、関屋明里、千村瑠香) 14中

2位 長野日大D(小池優佳、倉島里沙、青山華穂) 13中

3位 長野吉田B(河村春香、徳永佐和子、酒井美緒) 12中

▲個人の部 男子(8射)

- 1位 小野洸(長野日大F) 7中
- 2位 長田直也(長野吉田C) 6中
- 3位 大宮樹(長野日大F) 6中
- 4位 相澤貫太(須坂F) 6中
- 5位 和田知大(長野日大E) 6中

▲個人の部 女子(8射)

- 1位 小池優佳(長野日大D) 8中
- 2位 山本美音(長野工業) 6中
- 3位 河村春香(長野吉田B) 6中
- 4位 高梨遥(長野高専) 6中
- 5位 荻原若菜(須坂A) 6中

第33回北信越国民体育大会結果

○8月24(金)・25日(土)

福井県敦賀市総合運動公園弓道場

▲少年男子

遠的…4位 近的…3位 総合…4位

▲少年女子

遠的…2位 近的…2位 総合…2位

▲成年女子

遠的…1位 近的…3位 総合…1位

▲成年男子

遠的…3位 近的…2位 総合…3位

少年女子、成年女子、成年男子の3チームが本国体(岐阜県恵那市で開催)に出場が決まりました。



昇段昇格者

◆平成24年度 推薦

▽教士の部(6月14日)

滝澤寿雄(上小支部)

関澤喜内(松本支部)

つづいて

東日本大震災のテレビによる津波の映像は私自身も何が起こったのかと眼をうたがう様な光景でした。あれからもう一年六ヶ月も過ぎました。

過日福島県郡山市の被災地にボランティアとして行く機会を得ました。しかしいまだに瓦礫の山がそのままなっていました。これらを受け入れてくれる自治体が少ないのだそうです。又郡山市の役所も一部庁舎がこわれて、使われていない所もありました。又この周辺の四階建てのマンション等も壁にヒビが入ったりして放置されています。又途中の民家の屋根もいまだにビニールシートが張られている所もあり復興はまだまだ遠い感じでした。本日に一日も早い国の支援が行き届き早くに復興が進む事を願いながら帰ってきました。

又翌日に長野県北部の栄村に発生した震災による被害も大きなものでした。私もこの栄村の社会福祉協議会に村外復興応援隊のお話を聞く機会を得る事が出来近々訪問する予定です。

こう云った災害に対し私達はどうの様な支援をしたり協力が出来たのかを、考えて見る必要があるのではないかと思います。私自身の力は小さいですが、苦難を乗り越えて、耐えてこられた皆さんにエールを送る事が出来ればと思っています。

(上小支部 鷹野 良信)